

# JAF だからこそ担える未来へ。

Imagine the next future together.

NEXT JAF >>>

ロードサービスだけではない、  
あなたの知らない JAF がある。



**JAF**



# 次の未来を担う JAF。

クルマだけではない。ロードサービスだけではない。

JAF の強みは、その影響力です。

今も増加中の、全国 2,000 万人以上の会員。

サイト利用者も JAF スマートフォンアプリ登録者も

毎年 10 万人単位で伸び、

全国各地の自治体、大学、企業とともに、

さまざまなプロジェクトを共創しています。

この国の 6 人に 1 人が JAF 会員。

だからこそ生み出せる、世の中を刷新する未来の姿。

目の前の人を救い、信頼の環を築き、

社会全体を次の未来へつなぐ。

Imagine the next future together.

私たちだからこそ担える未来へ。

## 日々のカーライフを支え、ゆたかな未来をつなぐ。

1963 年にロードサービスを開始して以来、60 年の信頼と実績を積み重ねてきた JAF。

的確で迅速、さらに自動車業界や社会情勢の変化に対応しながら、

ユーザーの気持ちに寄り添った最適なサービスを提供してきました。

今ではロードサービス事業だけでなく、

2,000 万人以上の会員に向けた各種優待サービス、

交通安全啓発や災害支援をはじめとした社会貢献活動、

行政と連携しての地域振興にモータースポーツの推進など、

日本全国のカーライフを幅広く、手厚く支える、

なくてはならない存在へと成長することができました。

クルマに対するニーズが大きく変化する今の時代でも、会員数は増加し続けています。

ただし、ここからが私たちの正念場です。

競争サービスは数あれど、競争企業は見当たらない程の事業領域の広さ。

この独自のポジションに甘んじることなく、

モビリティユーザーにお届けできるゆたかな未来を探し続けること。

これが私たちの次なるミッションです。

ロードサービスを越えて。カーライフさえも越えて。

対話と共創により常に変化し続け、モビリティユーザーの生活を彩る JAF となる。

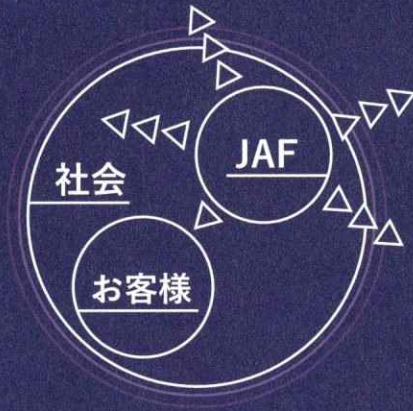
私たちだからこそつなげるサービスを、

想像力溢れる皆様とともに作り上げていきたいと思えます。



# 日本中の道を、網羅するセーフティネット。 60年かけてつくり上げてきました。

JAFのお客様は、全国2,000万人以上の会員  
(個人会員・家族会員・法人会員)の方々です。  
ですが、社会全体にも向けたサービスも提供しています。  
日本全体がJAFのお客様とも言えるかもしれません。



## ■会員に向けた事業

ロードサービスをはじめ、カーライフサポートや  
会員優待サービスの提供

### POINT

#### <クルマ社会のセーフティネット>

ロードサービス事業(会員でない方も対象)  
災害発生時の特別支援隊派遣(会員でない方も対象)  
地域防災訓練への参画

- 24時間365日、日本全国どこでも対応
- 統一救援ダイヤル・アプリ
- 最短最適な配車を実現するロードサービスシステム
- サービス品質を支える研修・検定制度・競技大会

#### <会員優待サービス>

全国48,890カ所の優待施設で割引や  
特典が受けられる会員優待サービス  
自治体と連携したドライブ企画や情報提供  
プレゼント・イベント企画

- クルマに乗らないときも感じられる会員メリット
- 多様化するライフスタイルに沿うサービス企画
- モビリティユーザーの生活を彩る企画
- 全自治体の約3分の1と観光協定を締結

会員

## ■社会に向けた事業

社会課題への取り組み・モータースポーツ振興など

交通安全啓発活動  
ユーザー実態調査  
モータースポーツ振興

- 実車を使って学べる講習会の実施
- 調査活動や広報物を通じた啓発(紙・Webメディア)
- JAF交通安全実行委員会による道路改善
- 日本唯一の四輪モータースポーツ統轄団体としての振興活動

## ■コミュニケーション

機関誌・SNS・アプリ・Webメディアを活用した  
全方位的コミュニケーション

JAFスマートフォンアプリ  
各種SNS(Twitter・facebook・Youtube)運用  
「JAF Mate」「JAF PLUS」「JAF スポーツ」発行

- デジタル会員証やお得なクーポンが使えるスマートフォンアプリ
- 自然災害発生時の注意喚起や、社会的な啓発もSNSで発信
- 2022年3月から新サービス『JAF Mate Online(ジャフメイトオンライン)』を公開

# 全国すべての現場は想いでつながっています。

ロードサービスとコールセンター、それぞれのスペシャリストと社会をつなぐ。

会員の方々と、まだ出会えていないゆたかな未来をつなぐ。

可能性を探し、つないでいくこと。それが私たちの仕事です。





対話、挑戦、共創。

## クリエイティブな挑戦者としての JAF。

長年の歴史の中で磨かれたサービスクオリティや、盤石な組織体制は私たちの財産です。

ただ、時代ごとの変化を乗り越える挑戦心や想像力を備えていることも、私たちの強みなのです。

毎日の挑戦が、続々と形になっています。

### 3,500人の職員の知恵を募る 「ビジネスアイデアコンテスト」

限られた職員だけが、新しい価値を生み出せるわけではありません。全国各地の職員から知恵を募る「ビジネスアイデアコンテスト」も2020年度から実施。初年度から想定を超える応募数が集まり、入賞したアイデアはすでに事業化に向けた動きが始まっています。

### 100人が集結する次世代システムの開発

JAFの多岐にわたる業務を効率化し、相乗効果を生み出すための次世代システム。この開発プロジェクトのために、全国各支部から100人近くの職員が集まり、総力を挙げて取り組んでいます。

### 各地で発足されるプロジェクト

東京支部「イノベーション創出みらいプロジェクト」や関西本部「デジタルコミュニケーションプロジェクトチーム」など、オープンイノベーションやWeb広報の改善・強化等を目的に、各地でプロジェクトチームを結成。次なるJAFの価値を生み出す動きが続々と起きています。

### 全国で大規模イベントを毎年開催

全国各支部主催で、会員の方々へ向けた大規模イベントを毎年実施しています。イベントは「遊園地で宝探し」、「全国ご当地キャラステージ」など、多岐にわたります。「鉄道博物館でのナイトミュージアム」には1,500人ものが集まりました。もちろん、イベントの企画運営も私たちが担い、現在は「オンラインイベント」にも力を入れています。

### JAFの価値を詰め込んだスマートフォンアプリ

GPSを備えた救援要請機能だけでなく、会員優待サービス、デジタル会員証までをカバーする「JAFスマートフォンアプリ」。今後のJAFのサービスプラットフォームとして大いに注目を集めています。

### 日本初となる市街地カートレース

2020年9月には、島根県江津市で市街地カートレースを開催。同市の地元企業と連携し、2013年から準備を重ね、開催実現に至りました。市街地カートレースの開催は国内初。禁止や制限だけではなくモータースポーツの振興の在り方を形にしました。

### 介助犬育成支援のため、JAF初のクラウドファンディング

身体の不自由な方をサポートする介助犬。介助犬が必要とされる方1.5万人に対して、現在活躍している介助犬の数は57頭。交通社会を構成するすべての方を支援するJAFのキャンペーン「思いやりティドライブ」の一環として、介助犬育成のためのクラウドファンディングを日本介助犬協会と共同実施。多くの方に賛同いただき、1,000万円の支援をいただきました。

### JAFが求める「つなぐ力」

自動車を取り巻く環境は大きな変化を迎え、多様化する社会ニーズに対応するため、私たちJAFもより多くの協力者との連携を目指しています。

自治体や大学、協力先企業とのつながりをつくり、そこから新たな価値を見出す。

こうした活動が未来のJAFをつくっていくのは間違いありません。

社内や業界内だけに目を向けるのではなく、

より広く社会にひらかれた未来のJAFに向けて、皆さんの「つなぐ力」を求めています。



# DATA OF JAF

数字が全てではありませんが、数字ほど事実を表すものもありません。  
ありのままのJAFをご覧ください。

産官学連携大学数

23 校

JAFでは大学や自治体などと連携し地域振興を推進する産官学連携を推進しており、現在、全国で12支部が23校と活動中です。

JAFの会員数

20,000,000 人以上

※会員継続率 92%

観光協定先自治体数

642 自治体

全国の自治体の約1/3にあたります。

年間報道掲載数

約 20,000 件

インターネット、テレビ、ラジオ、新聞などメディアを通して交通安全やクルマに関する情報などを中心に発信をしています。

会員優待契約施設数

48,890 施設

会員優待施設は、観光施設、道の駅、ホテル、レンタカー、パッケージ旅行、引越サービス、カラオケなど、幅広いジャンルにわたります。サービス利用者も拡大し、より生活に密着した施設との契約に努めています。

全国の拠点

1

本部

8

地方本部

52

支部

同期入社の数

約 100 人

職員数

3,478 人



平均有給取得日数

13.4 日

入社3年目までの平均離職率

10.5 %

※過去5年分の実績

年間休日数

125 日

平均残業時間

平均 13 時間

平均勤続年数

約 20 年



研修制度・自己啓発講座

180 コース



組織

一般社団法人 日本自動車連盟  
JAPAN AUTOMOBILE FEDERATION

住所

〒105-0012  
東京都港区芝大門 1-1-30  
日本自動車会館 14F

設立

1963年4月1日

